

暖かい春を告げる桜のつぼみに恵の雨となり、つぼみも少しずつ膨らみ始める始める季節となりました。希望と喜びに溢れるこのよき日に本校 PTA 会長様はじめ、学校運営協議委員の皆様のご列席をいただき、ここに令和三年度大田市立池田小学校卒業証書授与式を挙行できますことを心より厚く御礼申し上げます。

さて、さん、さん、さん、さん、さん、さん、ご卒業おめでとうございます。今、卒業証書を一人ひとりに手渡ししながら、今年度の六年生の活躍を思い出していました。私は、学校の顔はいつも六年生であると言ってきました。連合運動会、学習発表会、田植えばやしなどで様々な行事の取り組みを見ても、みなさんはそれに値するすばらしい活躍ぶりでした。「ありがとう。」

特に、みなさんが総合的な学習で取り組んだ「池田のまちのみりよくさがし」。これは、池田のみりよくを自分自身で見つけ、自分なりに考え、答えを出す見事な活動でした。

池田小学校を巣立ち、四月からは中学生として新たな道を進み始めることとなります。卒業にあたって一つだけ話をしたいと思います。

心理学者エリクソンという人によりますとみなさんが何年か立ち、青年になると、「自分は何者であるか?」「自分のやりたいことは何なのか?」と悩むことがあるそうです。その中で人はアイデンティが確立するそうです。アイデンティとはその人の「根っこ」のことです。その人の「根っこ」は生き方のもとになるものです。どうしてそう考えるのか?自分のやりたいことは何なのか?と自分で考える時が来るときに、その「根っこ」を作ることがとても大切です。

シドニーオリンピックでマラソンの金メダルをとった高橋尚子さんの座右の銘は「何も咲かない時は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」だそうです。高橋尚子選手は、マラソンに転向し3年間は、練習しても練習しても芽が出なくて苦しんだそうです。その時に、恩師から送られた言葉が、この言葉だったそうです。高橋選手はこの言葉を信じ、金メダルを目指してたくさん走ることにより根っこづくりをしてきたのです。そうして金メダルまでのぼりつめたのです。これは、根っこを作ることがやがてすばらしい仕事を生むことの大切さを表していると思います。

実は、その根っこを作る時、どこで、どんな人たちと過ごしたのかが重要なのだそうです。みなさんはこの池田小学校で「根っこ」になる部分をつくりました。「根っこ」とは、安心して戻ることができる場所であり、人であり、考え方があります。それはまさしくこの池田がふるさとであり、そのふるさとを学習してきたあなたたちは「根っこ」を確実に作って伸ばしてきているのです。

あなたたちは今日、立派にこの池田小学校を巣立っていきます。これは、私たちのまち池田というふるさがしっかりとっているからです。安心して戻ること

ができる場所や人がいるからなのです。何十年後、皆さんは池田の町なみと一緒に、そこで一緒に過ごした人を「ふるさと」として思い出すでしょう。そしてこの池田小学校で学んだことを誇りに思うでしょう。どうか、ふるさとを思い、ふるさと池田に育まれた自分に自信をもって人生の危機を乗り越えられる人になってください。

卒業する皆さんの未来が、明るく輝き、希望に満ちたものになることを願っています。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。これまで、溢れんばかりの愛情をもって育ててこられたことと思います。今、お子様の晴れ姿をご覧になられ感激もひとしおかと存じます。これまで本校の教育に対しまして、深いご理解とご支援を協力賜りましたことに心よりお礼申し上げます。

最後になりますが、この池田小学校を巣立ち新しいステージに第一歩を踏み出す卒業生の皆さんに幸多かれと祈りつつ、はなむけの言葉といたします。

令和四年三月十八日

大田市立池田小学校長